

## 【機械・一般事業】環境、医療・介護

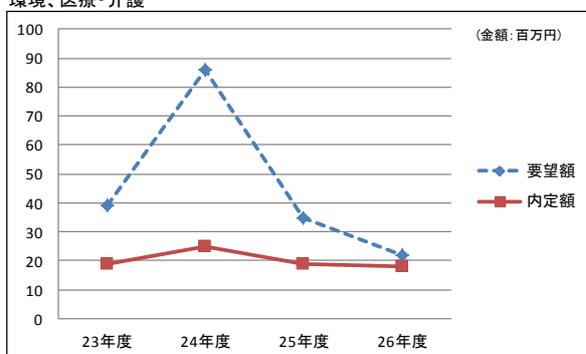
### 1. 補助の目的・概要

機械工業においても環境への配慮は当然のことであり、3R（リデュース、リユース、リサイクル）や省エネルギー・新エネルギー、低炭素・循環型技術による地球環境保護等は、従来から機械工業振興補助として重視してきた分野である。

平成24年度の機械工業振興補助においては、機械工業における環境、医療・介護分野等の振興を一般事業として支援することとした。

### 2. 補助実績（内定件数・金額）

環境、医療・介護



年度	要望数 (件)	要望額 (百万円)	内定数 <sup>※</sup> (件)	内定額 <sup>※</sup> (百万円)
23年度	7	39	4	19
24年度	7	86	5	25
25年度	6	35	4	19
26年度	5	22	5	18

※辞退となった事業を除く

平成24年度においては、7件8,570万円の補助要望があり、そのうち環境関連分野の事業に5件2,539万円の支援を行った。

### 3. 補助事業の事例

#### （一財）造水促進センター

水資源の有効利用による環境負荷の軽減と循環型経済社会の促進を目的とした、海水淡水化等膜利用施設からの廃棄膜に関する3Rの調査、逆浸透膜法海水淡水化における膜前処理技術の開発、日系企業が多く進出しているインドネシアの水処理問題を解決するための技術者の招聘などの技術交流を支援した。

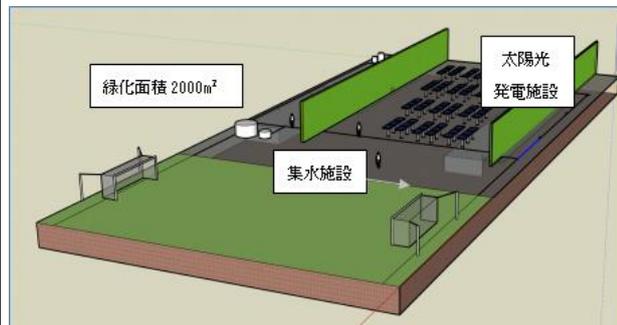


逆浸透膜を安定運転するための前処理として

採用したUF膜

(一財) エンジニアリング協会

環境負荷の小さいエネルギー自立型の低コスト水供給システムを構築し、拡大する都市緑化需要に対応する有効な手段を提供するため、太陽光発電及び排水浄化装置についての調査や集光型太陽光発電装置及び排水浄化装置プロトタイプに関する実験・評価、これらの結果を組み合わせた比較的規模の大きい緑化施設を対象にしたケーススタディに対し支援した。



水と自然エネルギーの有効活用システムイメージ

#### 4. 補助事業の成果等

(一社) プラスチック循環利用協会の行う、使用済プラスチックのリサイクルに関する技術開発について支援を行った。この開発で、前処理から再商品化まで連続して運転が可能なシステムが構築でき、処理費は約半分と大幅な削減効果をもつ技術に仕上がった。

(一社) 日本機械工業連合会が行う、資源制約に対応する材料再資源化等に関する調査研究について支援を行った。プロセス開発、リサイクル技術、代替材料技術等の7分野54件の具体的製品・ソフト技術の事例を取り上げ、産学・異業種間で共有すべき情報項目を設定し、優先順位付けを行ったことで、機械業界における資源確保と原材料供給の安定化、競争力強化を図った。

その他、(一社) 造水促進センター、(一財) エンジニアリング協会の行う事業に支援を行った。

#### 5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象7件(1補助事業で複数項目を評価していることがあるため、前段『2. 補助実績』の件数とは異なる)のうち、5段階評価で、評価5[極めて高い]が1件、評価4[比較的高い]が5件、評価3[ほぼ問題ない]が1件であった。

事業者の自己評価等を踏まえJK Aで評価を行ったところ、A+[比較的高い]が3件、A[概ね十分]が4件と、すべての事業で補助事業として概ね十分と評価されるA以上の評価となった。

なお、補助事業者から報告された「事業の成果を十分に発揮できなかった阻害要因」としては、自己資金の調達が難しかったことなどが挙げられており、事業の遂行にあたっては計画的に自己資金の調達を行うことが望まれる。